

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	地域の一員としての自覚は変わらず持ち続けているが、コロナ対策で交流が困難になっている。コロナ収束を見据えて、再度地域や家族との交流をどのように深めるのか検討する。	デイホームえんと共に、以前と同じように毎日のレクリエーション(歌、音楽、習字、折り紙など)のボランティアの参加を再開する。	その時その時の感染状況や危険度を常に注意して、週単位でボランティアをお願いしたりお断りしたりする。一気に解禁するのは難しいかもしれないが、小規模なレクリエーションから少しずつ再開する。段階を踏んで、「えんの食卓」が休みの日曜日の食事作りボラも再開したい。	6ヶ月
2			他事業所と共に、地域に開かれた施設として、コンサートや焼き芋タイムなどのイベントを再開する。	地域に公開するイベントは、会場や演者の予定もあり再開には慎重にならざるを得ないが、法人全体で考えたい。毎月の「事業所連絡会」で話し合いを重ねていく。	12ヶ月
3			町内会の行事や清掃に参加する。避難訓練に町会の方を招く。	直近の感染状況で判断し、今後は出来る限り参加していく。	6ヶ月
4			入居者が地域の行事などに参加する。	長高齢者が多い入居者が地域に出ていくのはまだ不安がある。まず、自宅に外泊することや、家族と外食することの安全から考えていき、実施に向かっていきたい。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。